夢のつばさ

令和２年度
学校運営協議会
第１回「函南小学校支援会議」
だより

６月号

文 責　渡 邊

第１回「函南小学校支援会議」が、６月１７日に函南小学校図書室で開催されました。
函南町では、平成２９年度に、丹那小学校、桑村小学校をコミュニティ・スクールに指定し、地域の方々と保護者と学校職員が学校運営や教育活動について話し合い、連携を図ってきました。
令和２年度から、町内全小・中学校で「学校運営協議会」を設置し、地域の方々の声を学校運営に取り入れながら、「地域とともにある学校」づくりを進めることとなりました。
本校では、この協議会の名称を「函南小学校支援会議」としました。この会議では、何を協議するかというと主に以下の３点についてです。
①校長が作成する学校運営の基本方針を承認します。
②学校運営や教育活動について、校長または教育委員会に意見を述べます。
③学校の課題解決や学校支援活動の実施方法等について協議します。
では、委員の皆様を紹介します。（※学校関係は敬称略）
①稲葉　優子さん（主任児童委員、読み聞かせボランティア、函南小クラブ講師）
②辻　真人さん（元函南小ＰＴＡ会長、函南小おやじの会代表）
③加藤ひとみさん（元小学校教頭、元民生委員）
④岩田　徹也さん（函南小ＰＴＡ会長、消防団分団長）
⑤田口　俊雄さん（仁田区長）
⑥鈴木　薫さん（地域学校協働活動推進委員）
⑦久保田　敦さん（函南小ＰＴＡ副会長）
⑧露木　千春さん（函南小ＰＴＡ副会長）
⑨渡邊　衛（函南小校長）
⑩奥藤　顕（函南小教頭）
⑪髙橋　敏子（函南小教務主任）

次に、この会の会長と副会長ですが、会長には、岩田さんが選出され、副会長には、渡邊が選出されました。
協議は、岩田会長の進行のもと行われました。
最初に、今年度の学校経営について、校長より説明し、委員の方々から承認をいただきました。
校長からは、グランドデザインや「学校便り『夢のつばさ』４月号」に掲載されている学校教育目標「主体的に学び　ともに　目標や夢に向かう子」と重点目標「よく聴いて　じっくり考える子」、そして、「温かな学校づくり」（★子供たちが学びたい学校、★保護者が通わせたい学校、★教師が勤めたい学校）等の学校経営の基本方針について説明がありました。そして、これまでの新型コロナウィルス感染症対策についての話もありました。
この説明後、委員の皆様方から承認をいただきました。今後、子供の教育に対する目標が共有されたことにより、学校を支援する取組が充実していくことが期待されます。

【函南小学校支援会議の可能性と魅力とは】
①【児童について】
・子供たちの学びや体験活動が充実すること
・地域の担い手としての自覚が高まること
②【教職員について】
・地域人材を活用した教育活動が充実すること
・地域の協力により、子供と向き合う時間が確保できること
③【保護者について】
・地域の中で子供が育てられているという安心感があること
・保護者同士や地域の方々との人間関係が構築できること
④【地域の人々について】
・経験を生かすことで生きがいにつながること
・学校を核とした地域のネットワークが構築されること

次に、函南小学校支援会議で出された意見の一部等を紹介します。

（１）熱中症対策について
　参加した委員より「１年生の下校の様子を見ることがありました。列の前後に大人が着いて整然と並んでいる姿はとても安心ができました。しかし、その日は気温が高く、その中でマスクをして下校であったために熱中症が心配になりました。その点の対策をうかがいたいです。」という意見がありました。
　それに対して、「先週、暑くなり始めてからすぐに２年生の保護者から同じようなお話があったので、『登下校時の暑いときマスクは外しても良い』という指導を全校児童に対して行いました。感染の心配をしている保護者や子供がいるので『絶対に外しなさい』という指導はしていません。何が安全なのか絶対的な答えは分からない状況にあります。しかし、これからは、新型コロナウィルス感染症の対策とともに、熱中症対策も考えていく必要があります。子供たちには指導しましたが、保護者全体には広報していなかったことは反省点です。この協議会が終わった後、全校にメールで注意喚起を行います。」と答え、各ご家庭に次のようなメールを配信しました。
【学校から発信した保護者メール内容】
　「文科省から示されている「学校の新しい生活様式」においては、「基本的には常時マスクを着用することが望ましい」とされています。また、同時に、「気候等の状況等により熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう促す等適切な対応を行うこと」という事も示されています。
　そこで、学校では子どもたちに、登下校時に暑いときはマスクを外しても良いことを指導してあります。保護者の皆様からも熱中症を予防するために子どもたちへ声かけをお願いします。」

（２）新型コロナウィルス感染症等の問題に対して
　新型コロナウィルスによる社会の変化は、保護者も教師も誰もがこれまで経験したことのない現在を生きています。この状況においては、どれが正解で、どれが間違っているという事ではなく、全てが正解なんだろうと考えます。
　このような中で、うまくバランスがとれる子供や保護者は心配はありませんが、それは少ないと思います。多くは真面目に受け止めて一生懸命に取り組もうとしており、だからこそ、子供や保護者は苦しんでいるのではないでしょうか。
　そして、保護者が不安や心配で苦しんでいるのであれば、その子供はもっと不安や心配を抱えているはずです。そんな時に、保護者や子供が先生にすぐに言えたり、相談したりして、一人一人に対し、一つ一つの出来事に対しても解決策やアドバイスをしていければよいと考えます。マスクも登下校に関しても、不安や心配があれば、先生に相談し、その状況に合わせた解決策を示していくことが大切だと思われます。
　これまでも、保護者と子供と先生のコミュニケーションは大切であったし、学校もその部分は努力していると思いますが、それがより大切な状況になっていると考えます。
　６月に学校が再開して、今回初めて学校において、この会合を開くことができました。しかし、４月に予定していた学校参観会、ＰＴＡ総会、学級懇談会、家庭訪問、５月の運動会、６月の参観会、全て実施できていないため、これまでならできている保護者、子供との人間関係も、十分にできていないのが現状です。今後、７月の保護者面談等で双方向のコミュニケーションを大切に信頼関係の構築に努めていきたいです。

（３）幼児期の「子育てに悩む保護者」へのサポートに関して
　委員より「自己肯定感について、触れられていましたが、これを高めるのは幼少期が大切です。いくら学校で頑張っても、家庭での取り組みがなければなかなか育てられない部分もあります。子供への指導だけでなく、できる範囲で『親業』についても学校で取り組んでもらえたらと考えています。」という意見に対して、「今年度は、２学期に、入学説明会とは別に長子を函南小に初めて入学させる保護者に対して学校を開放し、併せて、その保護者に『小学校入学時期の子育て』についての話ができる機会を設けようと考えていました。しかし、この新型コロナウイルス感染症の関係でその実施も難しいのが現状です。今後、感染症の状況をみて検討していきます。」と回答しました。

　この他にも貴重なご意見をいただきました。委員の皆様方には、授業を参観し、学校や子供の姿を理解していただいた後の協議会開催となりました。長時間にわたり本当にありがとうございました。この会は、年間３回を予定しています。保護者の皆様の中で本会議を傍聴したい方は、学校までご連絡いただきたく思います。第２回の開催予定につきましては、後日、学校便り等で紹介します。